

Bursa MTB Cup - Bursa (TUR/2) カテゴリー・C-2

平野 星矢

結果 2位

開催日 4月19日(日)

開催地 トルコ Bursa

天候 曇り

コースプロフィール / コンディション

コースプロフィールは少し日本に近い感じになっている。細かいアップダウンやテクニクセクションは少なく、上って下るようなコース設計。路面の土質も日本に近い。

周回数は7周回。

レポート

今レースは US・CUP 以来からの 4 週間ぶりのレース。

日本に帰ってからは上手い練習の組み立てが出来なかったが、だからと言ってコンディションはそんなに悪くは無い。トルコへは木曜日入りし、日曜日のレース。

ウォーミングアップの感じは、移動疲れのせいだろうか、身体が鈍くて重い感じがする。

ハンドル・ステム・シートポストも遠征前に新しい今期のモデルにチェンジして、まだポディションを出していない。アップがてらポディションをいじりながら調整をして行く。

スタート招集に少し遅れてしまい、3 列目からのスタートになった。トルコはヨーロッパより時間に厳しいようだ。

スタート直後は狭い石畳の裏路地を抜け、石畳の長い上りに入っていく。

ここからが抜かしどころ。少しずつ踏んで先頭集団に追い付いて行く。

何とかシングル前に先頭集団に追い付く。が、前の選手がシングルで中切れし、再び踏んで上り終わりで先頭に追い付く。やや無駄脚が多い。

そこから先頭に出てダンシングで踏んで行くが、上り終わりを間違え、また少し無駄脚。

長いシングルの下りに先頭で入り、落車。コースがあまり頭に入っていない。

先頭3人パックの2番手でシングルを進んで行くが、シングルの上り終わりになぜかコーステープが張ってありバイクに絡まりパックから離脱。

少し踏めば追い付く距離に先頭2人がいるが、1 周目から無駄に疲れてしまった。

脚を少し緩め、落ち着いて走るようにした。まだ6周回あるし、脚の調子も少し悪い。

2周目の上り終わりで一先ず先頭の2人に追い付きシングルへ入る。

しかし別カテゴリーの周回遅れの人に前を入られ、再び離脱。からのオフキャンバーでコースアウト。未だにコースを覚えていない。

3周目。だいぶ脚がお疲れなので、少し走り方を変えて軽めのダンシングと軽めのペダリングで軽いテンポで走るようにした。とりあえず2番手を走る選手に追い付くが、再び周回遅れに阻まれる。ヨーロッパの地方のレースは、UCIとは言ってもこんな物だ。

イライラせずに、「Hello」からの「Can you help me?」「Thank you」の不慣れな英語の挨拶と笑顔でパシして行く。今回は呼吸筋は元気なので、効果的に声掛けをし、希少な脚を温存して行く。

4周目で2位の選手を抜かして2番手で進む。

7周目の最終周回。シングルの下りで落車。ゼッケンプレートがぶっ壊れたのでタイラップを千切って、ジャージの中に収納してゴールまで走った。

- ・ 今回の反省点は、スタート前とレース前半がバタバタしてしまった事と、身体のコンディションを合わせる事が出来なかったのが残念だった。
- ・ しかしコンディションが合えば勝てるという実感があるので、来週に向けて確りと調整をして行きたい。

次のレースは次週の、同じトルコで開催されるシリーズ戦。

こちらでも UCI カテゴリー2のレース。確りと調整して UCI ポイントを獲って行きたい。

使用機材

バイク ANCHOR XR9(S サイズ)

コンポーネンツ SHIMANO XTR(Di2)

ホイール SHIMANO XTR

フォーク SR SUNTOUR AXON 100mm(サンツアー) 75bal

ハンドル SHIMANO PRO タルシス XC フラットトップバーDi2 バークランプ

ステム SHIMANO PRO タルシス XC ステム 110mm -6°

シートポスト SHIMANO PRO タルシス XC シートポスト Di2

ケミカル [ホルメンコール](#)

サングラス アディダス イーブルアイ・ハープリムプロ

ヘルメット KABUTO(OGK)ゼナード

グローブ KABUTO (OGK) EXG-3
シューズ SHIMANO SH-XC90L
ウェア Wave One

サプリメント SAVAS(明治製菓)
SAVAS ウォーター ボトル 7 本
ピットインゼリーバー 2 本



19.04.15 Bursa MTB Kupasi, C2 © Alptekin Başkır